

新しい国際交流員が着任

前任のマツキンブリジャ・ロスさんに代わってホクソン・クリストファー・トシロウさん(Jocson Christopher Toshiro)が着任しましたので紹介します。



皆さん、はじめまして。合衆国カリフォルニア州出身のホクソン・クリストファー・トシロウです。カリフォルニア大学で経営学と日本語を専攻し、去年卒業しました。卒業後は米原市の英語教師として日本で生活しました。この経験を生かして、滋賀県とミシガン州の姉妹関係を深め、アメリカと日本のハーフとして、国際理解をもっともっと広げていきたいです。甲賀市の皆さんと会う機会ができ、うれしいです。よろしくお願いします。

問い合わせ

市民活動推進課 交流推進担当
☎65-0604 FAX63-4554

Coordinator for International Relations

※CIR…
学校や公民館、地域で国際理解に関する取り組みをされる場合にも国際交流員を活用していただけますので、ご要望がありましたらお気軽にお問い合わせください。

- 国際理解教室は日本語で進めます。「英語を教える」ことはしていません。
- 営利に結びつくような事業には派遣することができませんのでご了承ください。
- 謝金は不要ですが、会場までの送迎をお願いします。
- CIRの勤務時間は原則として月々木曜日8時30分～17時15分、金曜日8時30分～11時30分です。
- 派遣希望日の10日前までに、希望日や内容を市民活動推進課にまず電話で連絡してください。

学校・地域などへ派遣 国際交流員のご活用を

【派遣申込方法】

派遣希望日の10日前までに、希望日や内容を市民活動推進課にまず電話で連絡してください。

揺れやすさと危険度を表示

地震ハザードマップを作成

市では、震災から市民の皆さんの生命を守るために「地震ハザードマップ」を作成し、7月の区・自治会を通じて各戸へ配布しました。

地震ハザードマップでは、市内で想定される「頓宮断層地震」「市内直下型地震」「東南海・南海地震」で推定される震度のうち、最も大きなものを「揺れやすさマップ」として、また揺れやすさと建物の構造、建築年次などのデータを合わせて想定される建物被害の危険度を「危険度マップ」として表しています。

平成7年1月の兵庫県南部地震では建物の倒壊などにより多くの尊い命が奪われました。その後においても、新潟県中越地震などの大地震が頻発しており、地震はいつどこで発生しても不思議ではない状況です。

地震ハザードマップにより想定される地震の揺れやすさと危険度を認識いただくとともに、マップを保管して建物の耐震診断・耐震改修に努めてください。

問い合わせ

都市計画課 都市計画担当 ☎65-0719 FAX63-4601

お詫びと訂正

地震ハザードマップの地図の表記に誤りがありました。お詫びして訂正します。

④ 第二水口台 ⑤ 第三水口台

